

OSSTech OpenLDAP 2.4

リリースノート



OSSTech

オープンソース・ソリューション・テクノロジー(株)

更新日: 2016年5月12日
リビジョン: 1.6

目次

1. はじめに	1
2. パッケージ更新履歴	2
3. コミュニティ版との差異	5
3.1 OSS テクノジ提供 OpenLDAP に独自で適用している修正.....	5
3.2 OSS テクノジ提供パッケージのベースとした Fedora 用 RPM パッケージで適用されていたパッチ.....	5
3.3 Debian OpenLDAP パッケージで適用されていたパッチ.....	5

1. はじめに

本ドキュメントは、OSS テクノロジー提供の OpenLDAP パッケージの修正内容について記載しています。本ドキュメントの対象となる OpenLDAP パッケージは、**osstech-openldap-2.4.44-110** です。

このパッケージはコミュニティ版 OpenLDAP 2.4.44 のソースコードをベースとしています。コミュニティ版のリリースノートについては次のページより確認してください。

<http://www.openldap.org/software/release/changes.html>

ご利用の OpenLDAP パッケージのバージョンの確認は次のコマンドで確認することができます。

```
$ rpm -qa | grep osstech-openldap  
osstech-openldap-2.4.44-110.el6.x86_64
```

2. パッケージ更新履歴

- 2016年4月14日 osstech-openldap-2.4.44-110
 - OpenLDAP 2.4.44 へのバージョンアップ
- 2016年1月5日 osstech-openldap-2.4.42-108
 - パスワードポリシー(履歴)の仕様改善
- 2015年12月23日 osstech-openldap-2.4.42-105
 - Berkeley DB 内のデータサイズ確認コマンド追加
- 2015年11月17日 osstech-openldap-2.4.42-102
 - OpenLDAP 2.4.42 へのバージョンアップ
- 2015年11月4日 osstech-openldap-2.4.41-101
 - スキーマファイル ad.schema の追加
- 2015年9月11日 osstech-openldap-2.4.41-98
 - 脆弱性(CVE-2015-6908)対応
- 2015年7月1日 osstech-openldap-2.4.40-91
 - セグメンテーション違反発生時、core ファイルが生成されるよう機能強化
- 2015年2月23日 osstech-openldap-2.4.39-81
 - 脆弱性(CVE-2015-1545)対応
- 2014年7月18日 osstech-openldap-2.4.39-75
 - OpenLDAP 2.4.39 へのバージョンアップ
- 2014年2月19日 osstech-openldap-2.4.35-74
 - シンタックスが Numeric String の属性に、数値的な大小比較ができるようなマッチングルールを追加
- 2014年2月13日 osstech-openldap-2.4.35-72
 - autogroup オーバーレイのバグ修正
- 2014年2月7日 osstech-openldap-2.4.35-71
 - パスワードを Active Directory と同期するオーバーレイの強化
- 2014年1月24日 osstech-openldap-2.4.35-70

- PBKDF2 パスワードハッシュモジュールの強化({PBKDF2-SHA256}及び{PBKDF2-SHA512})に対応)
- 2013 年 12 月 4 日 osstech-openldap-2.4.35-69
 - パスワードを Active Directory と同期するオーバーレイの追加
- 2013 年 12 月 4 日 osstech-openldap-2.4.35-68
 - PBKDF2 パスワードハッシュモジュールの追加
- 2013 年 8 月 13 日 osstech-openldap-2.4.35-64
 - 起動スクリプトの修正
 - Red Hat Enterprise Linux 6 標準の OpenLDAP がインストールされている場合、LDAPS がポートリザーブされ、LDAPS 接続ができない可能性があるため slapd 起動前に portreserve を実行
 - デフォルト設定ファイルのタイプミスを修正
 - スキーマファイル openssh-lpk.schema の追加
 - OpenSSH 6.2 以降の sshd_config(5) の AuthorizedKeysCommand 経由で参照する SSH 公開鍵情報を格納するための属性 sshPublicKey と オブジェクトクラス ldapPublicKey を定義するスキーマ(\$HOME/.ssh/authorized_keys の代替)。
- 2013 年 4 月 18 日 osstech-openldap-2.4.35-61
 - slapd が書き込み中に slapcat が不完全なデータを出力する問題を修正
 - <http://www.openldap.org/its/index.cgi?findid=6365>
 - slapd.conf を修正
- 2013 年 4 月 2 日 osstech-openldap-2.4.35-58
 - OpenLDAP 2.4.35 へのバージョンアップ
- 2013 年 3 月 15 日 osstech-openldap-2.4.31-56
 - ns-mail.schema に mailAlternateAddress 属性及び mailHost 属性を追加
- 2012 年 10 月 19 日 osstech-openldap-2.4.31-55
 - LDIF スクリプトを追加(ldifsortattr.pl)
- 2012 年 7 月 26 日 osstech-openldap-2.4.31-54
 - バックアップ用 cron 設定ファイルのパーミッションを変更
 - ホスト名のメモリ管理の問題を修正
 - <http://www.openldap.org/its/index.cgi?findid=7270>

- gettimeofday()を再入可能にするための修正
 - <http://www.openldap.org/its/index.cgi?findid=6262>
- 2012年6月1日 osstech-openldap-2.4.31-52
 - OpenLDAP 2.4.31 へのバージョンアップ
 - slapdpasswd で動的モジュールをロードするオプションを追加
 - Salted SHA-2 サポート
 - データベースのバックアップスクリプトを追加
 - LDIF スクリプトを追加(ldifdiff.pl, ldifunwrap.pl, ldifsort.pl)
 - Netscape Messaging Server 4.x のスキーマ定義ファイルを追加(ns-mail.schema)
 - サービススクリプトがデータベースディレクトリを自動作成するように変更
 - 既定で ldapi を有効化
 - AIX パッケージの SASL を有効化
 - dynacl オーバーレイを有効化
 - contrib の一部のオーバーレイのビルドを修正
 - pw-netscape 及び pw-sha2 オーバーレイを有効化
- 2011年12月5日 osstech-openldap-2.4.25-42
 - International Components for Unicode(ICU)をビルド時にリンクしないように修正

3. コミュニティ版との差異

OSS テクノロジー提供の OpenLDAP 2.4.44 はコミュニティ版 OpenLDAP 2.4.44 と以下の差異があります。

3.1 OSS テクノロジー提供 OpenLDAP に独自で適用している修正

- パスワードポリシー(履歴)の仕様改善
- Berkeley DB 内のデータサイズ確認コマンドの追加
- OpenLDAP のログファイル出力設定を追加
- slapd.conf を OSSTech 版の設定に変更
- OpenLDAP 公開関数と変数を OSSTech 版固有の名称に変更
- AIX 6 の Workload Partition(WPAR) 利用時に一般ユーザーが /dev/urandom をオープンできないケースに対応
- スキーマファイルの追加
- PBKDF2 パスワードハッシュモジュールの追加
- パスワードを Active Directory と同期するオーバーレイの追加
- autogroup オーバーレイのバグ修正パッチ

3.2 OSS テクノロジー提供パッケージのベースとした Fedora 用 RPM パッケージで適用されていたパッチ

- ldaprc ファイルを利用しないように修正
- setgid が実行されている場合にユーザー設定を読み込まないように修正
- slapd を位置独立実行形式(PIE)でビルドするように修正
- slaptools のシンボリックリンクを同一ディレクトリの slapd を指定して作成するように修正
- Perl、SQL のライブラリを直接リンクしないように修正
- リエントラントでない関数 gethostbyname()/gethostbyaddr() が繰り返し呼ばれた際にデッドロックが発生する問題を修正

3.3 Debian OpenLDAP パッケージで適用されていたパッチ

- slapindex が root ユーザーで実行された場合に警告を出すように修正
 - <http://www.openldap.org/its/index.cgi?findid=5356>